

小 平 市

高 齢 者 生 活 状 況 ア ン ケ ー ト
介 護 保 険 サ ー ビ ス 利 用 状 況 ア ン ケ ー ト

報 告 書



平成 2 6 年 3 月

小 平 市

目次

序章 調査の概要	1
1 調査の目的と方法	1
2 調査結果の概要	3
第1章 高齢者生活状況アンケート	11
調査票の記入者	11
1 ご本人について	11
(1) 性別	11
(2) 年齢	12
(3) 住まいの地域	13
(4) 要介護認定の有無	14
(5) 世帯構成	15
(6) 1か月の収入	16
2 医療・健康について	17
(1) 健康状態	17
(2) 医療機関の受診状況	18
(3) かかりつけの診療所・病院等の有無	18
(4) 通院や医療に関して困っていること	19
(5) 食生活について気をつけていること	21
(6) 定期的な運動の有無	22
(7) 定期的に運動していない理由	23
(8) 介護予防事業への参加意向	24
(9) 認知症になっても地域で生活するために必要なこと	25
3 日常生活について	26
(1) 日常生活で困っていること	26
(2) 日中独居・夜間独居の有無	29
(3) 緊急時の連絡先	30
(4) 住まいの種類	31
(5) 住まいについて困っていること	33
4 相談・権利擁護について	35
(1) 福祉情報の入手方法	35
(2) 地域包括支援センター・権利擁護センターこだいらの認知度	36
(3) 福祉に関する相談の意向	37
(4) 見守りや声かけの希望	39
(5) 金銭の管理などをまかせられる人	41
(6) 成年後見制度等の利用意向	42

5	外出・地域とのつながりについて	43
	(1) 外出の頻度	43
	(2) 外出の目的	44
	(3) 外出の際の主な交通手段	45
	(4) 近所づきあいの程度	45
	(5) 近所づきあいが無い理由	47
	(6) 地域の手助けの希望	48
	(7) 地域のためにできる手助け	49
	(8) 災害時の避難	50
	(9) 災害時に支援者として協力できること	51
6	就労・社会活動について	52
	(1) 就労の有無	52
	(2) 社会活動への参加状況	53
	(3) 社会活動への参加意向	55
	(4) ボランティアセンターの認知度	57
7	介護保険制度について	58
	(1) 介護保険制度への評価	58
	(2) 介護保険料の負担感	59
	(3) 介護保険料とサービス水準の関係	60
8	今後の生活について	62
	(1) 介護が必要になったときの希望	62
	(2) 自宅で暮らし続けるための課題	64
	(3) 重要だと思う高齢者福祉の取り組み	65
9	自由意見	66

第2章 介護保険サービス利用状況アンケート

	[在宅サービス利用者]	71
	調査票の記入者	71
1	ご本人について	71
	(1) 性別	71
	(2) 年齢	72
	(3) 要支援・要介護認定	73
	(4) 1か月の収入	74
2	住まいについて	75
	(1) 住まいの種類	75
	(2) 住まいの地域	76
3	ご家族や介護者について	77
	(1) 世帯構成	77
	(2) 日中独居・夜間独居の有無	78
	(3) 普段の介護者	79

(4) 介護者（家族・親族）の性別	80
(5) 介護者（家族・親族）の年齢	81
(6) 介護者（家族・親族）の住んでいる場所	82
(7) 介護者（家族・親族）の就労状況	83
(8) 介護者（家族・親族）が困っていること	84
(9) 介護できないときの対処方法	87
(10) 必要な介護者支援	89
4 介護保険サービスの利用について	90
(1) ケアマネジャーの対応への満足度	90
(2) ケアマネジャーへの希望	91
(3) 介護保険サービスの利用状況・満足度	92
(4) 不満や苦情を伝えた相手	96
(5) 不満や苦情を伝えたことによる改善状況	97
(6) サービス利用による心身状況の変化	97
5 利用者負担について	98
(1) 利用限度額に対する利用割合	98
(2) 利用限度額まで利用しない理由	99
(3) 利用者負担に対する感じ方	100
6 今後の利用意向について	101
(1) 今後利用したいサービス	101
(2) 地域密着型サービスの利用意向	103
(3) サービス事業者に希望すること	104
7 介護保険制度の運営について	105
(1) 市が力を入れるべきこと	105
8 自由意見	107

第3章 介護保険サービス利用状況アンケート

[施設・居住系サービス利用者]	111
調査票の記入者	111
1 ご本人について	111
(1) 性別	111
(2) 年齢	112
(3) 要支援・要介護認定	113
(4) 1か月の収入	113
2 施設・居住系サービスについて	115
(1) 入所施設等の種類	115
(2) 居室の種類	116
(3) 個室の利用希望	117
(4) 施設でのサービス内容について	118
(5) 施設での生活で困っていること	119
(6) 施設利用料の負担感	120

(7) 不満や苦情を伝えた相手	121
(8) 不満や苦情を伝えたことによる改善状況	122
(9) 在宅生活に戻る場合の課題	123
3 介護保険制度の運営について	125
(1) 市が力を入れるべきこと	125
4 自由意見	126

第4章 介護保険サービス利用状況アンケート

[介護保険サービス未利用者] 129

調査票の記入者	129
1 ご本人について	129
(1) 性別	129
(2) 年齢	130
(3) 要支援・要介護認定	130
(4) 1か月の収入	131
2 住まいについて	132
(1) 住まいの種類	132
(2) 住まいの地域	133
3 ご家族や介護者について	134
(1) 世帯構成	134
(2) 日中独居・夜間独居の有無	135
(3) 普段の介護者	136
(4) 介護者（家族・親族）の性別	137
(5) 介護者（家族・親族）の年齢	138
(6) 介護者（家族・親族）の住んでいる場所	139
(7) 介護者（家族・親族）の就労状況	139
(8) 介護者（家族・親族）が困っていること	140
(9) 介護できないときの対処方法	142
(10) 必要な介護者支援	143
4 介護保険サービスの利用について	144
(1) 介護保険サービスを利用していない理由	144
(2) 介護保険サービスの認知度・利用意向	146
(3) 地域密着型サービスの認知度・利用意向	150
(4) サービス事業者に希望すること	152
5 介護保険制度の運営について	153
(1) 市が力を入れるべきこと	153
6 自由意見	154
資料編（調査票）	159

序 章

調 査 の 概 要

1 調査の目的と方法

(1) 高齢者生活状況アンケート

①調査目的

この調査は、平成26年度に策定が予定されている『小平市高齢者保健福祉計画・小平市介護保険事業計画』の基礎資料とするため、高齢者の生活状況や支援サービスの利用意向等を把握するために実施しました。

②調査対象

平成25年12月1日時点において、市内に居住している65歳以上の高齢者の中から、4,000人を抽出しました。

抽出は、住民基本台帳より無作為に行いました。

③調査方法

配布・回収とも郵送で行いました。(回答は無記名)

④調査期間

平成26年1月9日から1月31日

⑤配布・回収状況

配布数	回収数	白票 無効票	有効回収数	有効回収率
4,000	2,662	0	2,662	66.6%

(2) 介護保険サービス利用状況アンケート

①調査目的

この調査は、平成26年度に策定が予定されている『小平市介護保険事業計画』の基礎資料とするため、要支援・要介護認定を受けた方のサービス利用実態、満足度、意向等を把握し、今後の介護保険サービスの基盤整備、需要と供給の適正化、新たな施策の対応等、制度運営の充実に資することを目的に実施しました。

②調査対象

平成25年12月1日時点において、要支援・要介護認定を受けている方(施設入所者を含む)の中から、在宅サービス利用者1,900人、施設・居住系サービス利用者800人、介護保険サービス未利用者800人を抽出しました。

③調査方法

配布・回収とも郵送で行いました。(回答は無記名)

④調査期間

平成 26 年 1 月 9 日から 1 月 31 日

⑤配布・回収状況

調査の種類	配布数	回収数	白票 無効票	有効回収数	有効回収率
在宅サービス利用者	1,900	1,160	1	1,159	61.0%
施設・居住系サービス利用者	800	418	2	416	52.0%
介護保険サービス未利用者	800	448	1	447	55.9%
合計	3,500	2,026	4	2,022	57.8%

◆ 調査結果の見方について

- ① 表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が%（小数点以下第 1 位まで）を表示しています。
- ② 集計した数値（%）は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示しています。このため、単数回答の場合、選択肢の数値（%）を全て合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100%を超えます。
- ④ 回答結果を見やすくするため、グラフでは無回答など一部の項目を省略している場合があります。

2 調査結果の概要

(1) 高齢者生活状況アンケート

問3 年齢 ～ 75歳以上は約2割 <12ページ参照>

「65～69歳」が45.9%で最も多く、次いで「70～74歳」が31.3%、「75～79歳」が10.3%、「80～84歳」が6.5%となっています。75歳以上の方は約2割となっています。

問6 世帯構成

～ ひとり暮らしは2割弱、65歳以上だけの世帯は約6割 <15ページ参照>

「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）」が38.4%で最も多く、「その他の家族が同居（65歳未満の方も同居）」が33.2%、「ひとり暮らし」が16.8%となっています。

問8 健康状態 ～ 「特に病気や障がいはない」が最も多い <17ページ参照>

「特に病気や障がいはない」が50.6%で最も多く、次いで「病気や障がいがあるが、身のまわりのことや外出は大体自分でできる」が42.9%となっています。

問16 認知症になっても地域で生活するために必要なこと

～ 「早期発見・早期診療」が最も多い <25ページ参照>

「認知症の早期発見・早期診療のしくみ」が61.3%で最も多く、次いで「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が52.2%、「認知症を予防する取り組み」が49.8%、「認知症の人を支える施設やサービス」が47.3%となっています。

問17 日常生活で困っていること

～ 「将来のこと」、「身体の健康状態」が多い <26ページ参照>

「将来のこと」が16.6%で最も多く、次いで「身体の健康状態」が15.1%、「急病など緊急時のこと」が14.1%、「収入や生計のこと」が12.2%となっています。

問18 日中独居・夜間独居の有無 ～ 日中独居は3割あまり <29ページ参照>

「日中も夜間も家族がいることが多い」が60.1%で最も多く、次いで「日中は一人であることが多い（夜間は家族がいる）」が16.9%、「日中も夜間も一人であることが多い」が16.2%、「夜間は一人であることが多い（日中は家族がいる）」が1.8%となっています。

問25 見守りや声かけの希望

～ 「緊急通報システム」が最も多い <39ページ参照>

「緊急通報システムによる見守り（緊急時にボタンを押すと、消防署や警備会社に連絡できます）」が23.1%で最も多く、次いで「近所の人や地域のボランティアによる見守り」が18.8%、「地域包括支援センター職員による見守り」が17.0%、「電話訪問（週1回電話による見守りを行います）」が8.2%となっています。

問 31 近所づきあいの程度

～ 「あいさつをする程度」が最も多い <45 ページ参照>

「あいさつをする程度のつきあいが多い」が 36.0%で最も多く、次いで「立ち話をする程度のつきあいが多い」が 34.2%、「家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる」が 20.0%、「近所づきあいはほとんどない」が 7.7%となっています。

問 33 地域の手助けの希望

～ 「見守りや安否確認など」、「災害時の手助け」が多い <48 ページ参照>

「見守りや安否確認など」が 30.3%で最も多く、次いで「災害時の手助け」が 29.2%、「ちょっとした買い物やゴミ出し」が 24.9%、「食事づくりや掃除、洗濯の手伝い」が 15.1%となっています。

問 41 介護保険制度への評価

～ 「評価している」は7割あまり、「評価していない」は約2割 <58 ページ参照>

「ある程度評価している」が 58.5%で最も多く、次いで「あまり評価していない」が 16.3%、「高く評価している」が 15.6%となっています。

問 42 介護保険料の負担感

～ 「このくらいの負担はやむを得ない」が最も多い <59 ページ参照>

「このくらいの負担はやむを得ない」が 41.4%で最も多く、次いで「今の負担では苦しい」が 34.9%、「おおむね妥当である」が 8.3%となっています。

問 43 介護保険料とサービス水準の関係

～ 「ほどほどの介護保険料である程度のサービス」が最も多い <60 ページ参照>

「ほどほどの介護保険料で、ある程度のサービスが受けられればよい」が 61.4%で最も多く、次いで「介護保険料が多少高くても、サービスが充実しているほうが良い」が 18.6%、「サービスを多少おさえても、介護保険料が安いほうが良い」が 15.0%となっています。

問 44 介護が必要になったときの希望

～ 「自宅で介護」が6割弱 <62 ページ参照>

「自宅で介護保険サービスを利用しながら生活したい」が 38.5%で最も多く、次いで「自宅で主に家族などの介護を受けながら生活したい」が 17.9%、「特別養護老人ホームに入所したい」が 9.1%、「高齢者向けの賃貸住宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい」が 7.2%となっています。

問 45 自宅で暮らし続けるための課題

～ 「家族だけでは、十分な介護が難しい」が最も多い <64 ページ参照>

「家族だけでは、十分な介護が難しい」が 59.7%で最も多く、次いで「家族の経済的負担が大きい」が 36.6%、「緊急時の対応に不安がある」が 31.1%、「在宅の介護保険サービスだけでは、十分な介護が難しい」が 30.1%となっています。

問 46 重要だと思う高齢者福祉の取り組み

～ 「趣味や生きがいがづくり、社会活動参加への支援」が最も多い <65 ページ参照>
「趣味や生きがいがづくり、社会活動参加への支援」が 53.0%で最も多く、次いで「健康づくりや介護予防のための支援」が 45.6%、「在宅の介護保険サービスの充実」が 40.0%、「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が 36.6%となっています。

(2) 介護保険サービス利用状況アンケート

① 在宅サービス利用者

問 3 年齢 ～ 75 歳以上は約 8 割 <72 ページ参照>

「80～84 歳」が 28.9%で最も多く、次いで「85～89 歳」が 23.6%、「75～79 歳」が 15.1%、「90 歳以上」が 14.6%となっています。75 歳以上の方は約 8 割となっています。

問 4 要支援・要介護認定 ～ 「要支援 2」が最も多い <73 ページ参照>

「要支援 2」が 24.2%で最も多く、次いで「要介護 2」が 20.6%、「要支援 1」が 15.8%、「要介護 1」が 15.5%となっています。要支援の方は約 4 割、要介護の方は 6 割弱となっています。

問 8 世帯構成

～ ひとり暮らしは約 3 割、65 歳以上だけの世帯は 6 割あまり <77 ページ参照>
「その他の家族が同居（65 歳未満の方も同居）」が 32.8%で最も多く、次いで「ひとり暮らし」が 30.3%、「夫婦ふたり暮らし（配偶者は 65 歳以上）」が 27.6%、「その他の家族が同居（全員 65 歳以上）」が 6.4%となっています。

問 9 日中独居・夜間独居の有無 ～ 日中独居は 5 割弱 <78 ページ参照>

「日中も夜間も家族がいることが多い」が 48.0%で最も多く、次いで「日中も夜間も一人であることが多い」が 29.4%、「日中は一人であることが多い（夜間は家族がいる）」が 18.2%、「夜間は一人であることが多い（日中は家族がいる）」が 1.3%となっています。

問 14 介護者（家族・親族）の就労状況

～ 働いている方は 3 割弱 <83 ページ参照>

「もともと働いていなかった」が 32.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイトとして働いている」が 12.2%、「正社員として働いている」が 10.6%となっています。「その他」では、「自営業」、「専業主婦」、「定年退職後」などの回答がありました。

問 15 介護者（家族・親族）が困っていること

～ 「介護者自身の健康」、「緊急時の対応」が多い <84 ページ参照>
「介護者自身の健康に不安がある」が 47.8%で最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が 42.9%、「精神的につらい」が 39.9%、「代わりを頼める人がいない」が 35.6%、「体力的につらい」が 34.0%となっています。

問 20 サービスの利用状況

～ 「通所介護（デイサービス）」が最も多い <92 ページ参照>

利用が多いサービスとしては、「通所介護（デイサービス）」が46.9%、「福祉用具の貸与」が39.0%、「訪問介護（ホームヘルプ）」が33.9%となっています。

問 23 サービス利用による心身状況の変化

～ 「改善した」と「悪化を食い止める効果はあった」が合わせて約6割 <97 ページ参照>

「利用する前に比べて、改善した」が36.2%で最も多く、次いで「改善はしていないが、悪化を食い止める効果はあった」が24.8%、「利用する前に比べて、特に変化はない」が16.6%、「利用する前に比べて、むしろ悪化した」が1.8%となっています。

問 24 利用限度額に対する利用割合

～ 「ほぼ利用限度額まで」が最も多い <98 ページ参照>

「ほぼ利用限度額まで利用している」が26.7%で最も多く、次いで「利用限度額よりかなり少ない」が21.1%、「利用限度額の半分程度まで利用している」が17.5%、「利用限度額を超えて利用している」が7.5%となっています。

問 26 利用者負担に対する感じ方

～ 「このくらいの負担はやむを得ない」が最も多い <100 ページ参照>

「このくらいの負担はやむを得ない」が50.3%で最も多く、次いで「あまり負担に思わない」が20.3%、「今の負担では苦しい」が10.1%となっています。

問 27 今後利用したいサービス

～ 「通所介護（デイサービス）」、「福祉用具の貸与」が多い <101 ページ参照>

「通所介護（デイサービス）」が41.7%と最も多く、次いで「福祉用具の貸与」が41.2%、「訪問介護（ホームヘルプ）」が37.2%、「福祉用具の購入費支給」が28.0%となっています。

問 28 地域密着型サービスの利用意向

～ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が最も多い <103 ページ参照>

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が28.6%で最も多く、次いで「地域密着型特別養護老人ホーム」が19.9%、「小規模多機能型居宅介護」が19.4%、「夜間対応型訪問介護」が16.6%となっています。

問 29 サービス事業者に希望すること

～ 「対応が丁寧」、「ケアマネジャーとの連携」が多い <104 ページ参照>

「対応が丁寧であること」が53.1%で最も多く、次いで「ケアマネジャーとの連携がよく取れていること」が52.8%、「介護技術が確かなこと」が50.3%、「自分や家族の話をきちんと聞いてくれること」が50.1%となっています。

問 30 市が力を入れるべきこと

～ 「サービス事業者の質の向上」、「入所施設の整備」が多い <105 ページ参照>
「サービス事業者の質の向上」が 38.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が 37.4%、「介護保険サービスの情報提供の充実」が 36.7%、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスの充実」が 35.5%、「医療機関と介護サービス事業所の連携推進」が 29.3%となっています。

② 施設・居住系サービス利用者

問 3 年齢 ～ 75 歳以上は約 9 割 <112 ページ参照>

「90 歳以上」が 32.7%で最も多く、次いで「85～89 歳」が 26.2%、「80～84 歳」が 20.7%、「75～79 歳」が 10.6%となっています。75 歳以上の方は約 9 割となっています。

問 4 要支援・要介護認定 ～ 「要介護 5」が最も多い <113 ページ参照>

「要介護 5」が 23.3%で最も多く、次いで「要介護 3」が 22.6%、「要介護 4」が 21.9%、「要介護 2」が 13.7%となっています。

問 6 入所施設等の種類 ～ 「特別養護老人ホーム」が最も多い <115 ページ参照>

「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」が 44.7%で最も多く、次いで「有料老人ホーム」が 23.6%、「介護老人保健施設」が 17.8%、「認知症高齢者グループホーム」が 7.2%となっています。

問 7 居室の種類

～ 「多床室」が 4 割あまり、「ユニット型個室」は 3 割弱 <116 ページ参照>
「多床室（2人部屋・4人部屋等）」が 43.3%で最も多く、次いで「ユニット型個室」が 27.9%、「その他の個室」が 27.2%となっています。

問 10 施設での生活で困っていること

～ 「外出の機会が少ない」が最も多い <119 ページ参照>
「外出の機会が少ない」が 21.6%で最も多く、次いで「日中の過ごし方に不満がある」が 16.1%、「緊急時の対応に不安がある」が 10.1%、「介護や看護の内容が良くない」と「相談できる相手がいない」がそれぞれ 7.0%となっています。

問 11 施設利用料の負担感

～ 「このくらいの負担はやむを得ない」が最も多い <120 ページ参照>
「このくらいの負担はやむを得ない」が 58.9%で最も多く、次いで「今の負担では苦しい」が 17.3%、「あまり負担に思わない」が 9.9%となっています。

問 14 在宅生活に戻る場合の課題

～ 「家族だけでは、十分な介護が難しい」が最も多い <123 ページ参照>

「家族だけでは、十分な介護が難しい」が 68.5%で最も多く、次いで「夜間の介護や見守りに支障がある」が 58.4%、「住まいに支障がある」が 53.6%、「緊急時の対応に不安がある」が 48.6%となっています。

問 15 市が力をいれるべきこと

～ 「入所施設の整備」が最も多い <125 ページ参照>

「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が 52.9%で最も多く、次いで「サービス事業者の質の向上」が 33.9%、「認知症に関する施策の充実」が 30.5%、「医療機関と介護サービス事業所の連携推進」が 29.3%となっています。

③ 介護保険サービス未利用者

問 3 年齢 ～ 75 歳以上は約 8 割 <130 ページ参照>

「80～84 歳」が 27.7%で最も多く、次いで「85～89 歳」が 20.8%、「75～79 歳」が 18.3%、「90 歳以上」が 14.5%となっています。75 歳以上の方は約 8 割となっています。

問 4 要支援・要介護認定 ～ 「要支援 1」が最も多い <130 ページ参照>

「要支援 1」が 37.4%で最も多く、次いで「要支援 2」が 23.7%、「要介護 1」が 12.3%、「要介護 2」と「要介護 4」がそれぞれ 5.6%となっています。要支援の方は約 6 割、要介護の方は約 3 割となっています。

問 8 世帯構成

～ ひとり暮らしは 2 割あまり、65 歳以上だけの世帯は約 6 割 <134 ページ参照>

「その他の家族が同居（65 歳未満の方も同居）」が 33.8%で最も多く、次いで「夫婦ふたり暮らし（配偶者は 65 歳以上）」が 33.1%、「ひとり暮らし」が 22.6%、「その他の家族が同居（全員 65 歳以上）」が 5.6%となっています。

問 9 日中独居・夜間独居の有無 ～ 日中独居は 4 割あまり <135 ページ参照>

「日中も夜間も家族がいることが多い」が 45.6%で最も多く、次いで「日中も夜間も一人であることが多い」が 24.2%、「日中は一人であることが多い（夜間は家族がいる）」が 19.5%、「夜間は一人であることが多い（日中は家族がいる）」が 0.7%となっています。

問 14 介護者（家族・親族）の就労状況

～ 働いている方は 2 割あまり <139 ページ参照>

「もともと働いていなかった」が 30.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイトとして働いている」が 10.6%、「正社員として働いている」が 8.5%、「契約社員・派遣社員等として働いている」が 4.2%となっています。

問 15 介護者（家族・親族）が困っていること

～ 「介護者自身の健康」、「緊急時の対応」が多い 〈140 ページ参照〉

「介護者自身の健康に不安がある」が 43.0%で最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が 35.2%、「代わりに頼める人がいない」が 30.3%、「精神的につらい」が 25.4%、「体力的につらい」が 25.0%となっています。

問 18 介護保険サービスを利用していない理由

～ 「まだ利用するほどでもない」が最も多い 〈144 ページ参照〉

「特にまだサービスを利用するほどでもないため」が 42.7%で最も多く、次いで「家族などに介護してもらっているため」が 22.8%、「利用したいが、サービスの利用方法がわからないため」が 14.3%、「入院中であるため」が 12.1%、「サービスを利用することに抵抗があるため」が 11.9%となっています。

問 19-2 介護保険サービスの利用意向

～ 「福祉用具の貸与」が最も多い 〈146 ページ参照〉

「福祉用具の貸与」が 23.3%と最も多く、次いで「住宅改修費の支給」が 21.9%、「福祉用具の購入費支給」が 21.3%、「訪問介護（ホームヘルプ）」が 19.7%となっています。

問 20-2 地域密着型サービスの利用意向

～ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が最も多い 〈151 ページ参照〉

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 20.1%で最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」が 18.1%、「地域密着型特別養護老人ホーム」が 17.0%、「複合型サービス」が 16.6%となっています。

問 21 サービス事業者希望すること

～ 「対応が丁寧」、「自分や家族の話をきちんと聞く」が多い 〈152 ページ参照〉

「対応が丁寧であること」が 63.8%で最も多く、次いで「自分や家族の話をきちんと聞いてくれること」が 60.4%、「介護技術が確かなこと」が 57.5%、「ケアマネジャーとの連携がよく取れていること」が 56.6%、「主治医との連携が取れていること」が 55.5%となっています。

問 22 市が力を入れるべきこと

～ 「介護保険サービスの情報提供の充実」が最も多い 〈153 ページ参照〉

「介護保険サービスの情報提供の充実」が 51.5%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が 43.0%、「サービス事業者の質の向上」が 40.7%、「医療機関と介護サービス事業所の連携推進」が 40.5%、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスの充実」が 36.5%となっています。